

# 忘れていませんか？風水害への備え

☎危機管理課（防災センター2階） ☎0538-37-2114 FAX 0538-32-0177

## 「自分の命は自分で守る」ために、事前の準備をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の広がりが予断を許さない中、風水害が多く発生する季節を迎えます。災害時に適切な判断と行動を行うためにも、日頃からさまざまな情報を収集し予想される災害に備えることが大切です。

### check 01

## 自宅周辺の危険箇所を事前に確認しましょう！

ハザードマップなどを用いて、自分が住む地域にはどのような災害の危険があるのか確認しておきましょう。

### 「洪水ハザードマップ」

ページ番号 1008397

洪水ハザードマップは、大雨による河川の氾濫などの災害から皆さんが避難する際の参考となる情報をまとめたものです。

想定し得る最大規模の降雨による浸水想定と深さ、避難場所などが示されて、避難ワークシートとしても活用できます。

いざというときに備えて、家族や近所の方と避難場所や避難の方法を話し合しましょう。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。



▲洪水ハザードマップ

### 静岡県総合防災アプリ「静岡県防災」

静岡県では、スマートフォン向け総合防災アプリ「静岡県防災」を運用しています。

各種緊急情報の通知から、ハザードマップの確認、平時の防災学習や避難トレーニングまで、幅広く役立つ機能を備えています。



▲アプリの登録はこちらから

# check 02

## 避難情報の意味を知っておきましょう!

市では、気象情報などを参考に避難情報を発令します。それぞれの意味を知ることによって、災害発生時の危険度や切迫性を察知することができます。

避難情報は、水害や土砂災害に備えて、住民が取るべき行動を5段階に分けてお知らせします。大切なポイントは、「警戒レベル3」が発令されたら、避難に時間を要する方（高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその支援者は安全な場所へ避難を開始し、それ以外の方は避難の準備をすること。そして、「警戒レベル4」が発令されたら、対象となる地域住民は危険な場所から全員避難することです。

| 警戒レベル             | 住民が取るべき行動  | 避難情報など                          |
|-------------------|--|---------------------------------|
| 警戒レベル<br><b>5</b> | 既に災害が発生している状況です。<br><b>命を守るための最善の行動</b> をとりましょう。   | ▶災害発生情報<br>(磐田市が発令)             |
| 警戒レベル<br><b>4</b> | <b>危険な場所から全員避難</b><br>速やかに安全な場所へ避難しましょう。<br>公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、 <b>近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難</b> しましょう。 | ▶避難勧告<br>▶避難指示(緊急)<br>(磐田市が発令)  |
| 警戒レベル<br><b>3</b> | <b>危険な場所から高齢者等は避難</b><br>避難に時間を要する人（ <b>高齢の方、障がいのある方、乳幼児など</b> ）とその支援者は避難を開始しましょう。<br>その他の人は、避難の準備を整えましょう。 | ▶避難準備・<br>高齢者等避難開始<br>(磐田市が発令)  |
| 警戒レベル<br><b>2</b> | 避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの <b>避難行動を確認</b> しましょう。   | ▶洪水注意報<br>▶大雨注意報 など<br>(気象庁が発表) |
| 警戒レベル<br><b>1</b> | 災害への心構えを高めましょう。  | ▶早期注意情報<br>(気象庁が発表)             |



こちらも  
チェック!

### 動画で確認! 「避難勧告判断マニュアル」



5段階の警戒レベルの説明や災害ごとの避難場所など、風水害へ備えるために、特に重要なことをまとめた動画を作成しました。動画は、YouTubeの磐田市公式チャンネル「磐田TV」で視聴できます。

☎地域づくり応援課 ☎37-4751 FAX32-2353



▲動画の視聴はこちらから

# check 03

## 情報の入手方法を確認しましょう！

市から、避難情報などの緊急情報を発令する場合には、市ホームページやメール配信などさまざまな手段を用いて市民の皆さんへお伝えします。

### 1. 磐田市ホームページ（防災リンク集）

河川水位情報や雨量情報、気象庁などへのリンク集を掲載しています。あらかじめ確認しておきましょう。

ページ番号 1001210

### 2. メール配信サービス「いわたホットライン」

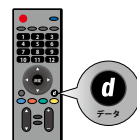
台風への注意喚起や避難場所の開設情報などをメール配信します。また、同報無線を「聞き逃した」「風雨で聞こえなかった」ときでも、放送内容を文字で確認できます。



◀メール登録はこちら

### 3. テレビのデータ放送

リモコンのdボタンを押すと、気象情報や河川水位情報、避難場所開設情報、災害情報などを見ることができます。



◀リモコンのdボタン

### 4. 磐田市公式SNS（フェイスブック・ツイッター）

磐田市のさまざまな情報を発信します。災害時は、避難場所の開設情報や災害状況も掲載しています。



◀SNSの閲覧はこちら

### 5. Yahoo!防災速報（スマートフォン向けアプリ）

避難場所の開設状況や災害情報など、市が発表する防災情報を緊急のお知らせとして、スマートフォンアプリの通知で受け取れます。



◀アプリの登録はこちら

こちらも  
チェック!



## 非常持出品チェックシート

必要なものは常にリュックサックなどに入れておき、避難時にはすぐに持ち出しができるようにしておきましょう。

#### 新型コロナウイルス感染症対策として

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> リュックサック（非常持出袋用） | <input type="checkbox"/> マスク、アルコール消毒液、体温計              |
| <input type="checkbox"/> 飲料水             | <input type="checkbox"/> 寝袋・ブランケット                     |
| <input type="checkbox"/> 非常食（調理不要なもの）    | <input type="checkbox"/> 軍手・タオル                        |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池  | <input type="checkbox"/> 貴重品（現金、通帳・保険証のコピー）            |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器・バッテリー  | <input type="checkbox"/> 医薬品（常備薬・救急セット）                |
| <input type="checkbox"/> 雨具・防寒具          | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ                     |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着           | <input type="checkbox"/> 個別に必要なもの<br>（介護用品・生理用品・ベビー用品） |

## check 04

### 適切な判断と迅速な行動を心掛けましょう!

積極的に情報収集を行い、気象状況や周囲の状況をしっかりと見極めた上で避難の要否を判断します。避難を決めたら速やかに行動しましょう。



「避難」とは「難」を「避」けることです。自宅での安全確保が可能な方は、避難場所に行く必要はありません。



豪雨時や浸水時の屋外への避難は、かえって危険な場合があります。家の中でも崖などから離れた部屋や、2階以上の部屋に避難しましょう。(屋内安全確保)



隣近所で声を掛け合い、2人以上で避難しましょう。



動きやすい服装で避難しましょう。紐で縛る運動靴を履き、荷物は背負い、両手は使えるようにしましょう。

今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、人との接触をなるべく減らさなければならない状況です。

避難場所では十分な換気に努めるとともに、避難者が十分なスペースを確保できるよう努めますが、避難場所が過密状態になることを防ぐため、可能な場合は安全な親戚や友人の家などへの避難も検討してください。

こちらも  
チェック!

## 大雨に備えて安心 土のうステーション

市では大雨に備え、自分で土のうを作り、持ち帰る場所「土のうステーション」を西庁舎北側と各支所に設置しています。大雨となる前に早めの準備をお願いします。

ページ番号 1001148

☎道路河川課 ☎37-4808 FAX32-3948



- ▶ 道路河川課（西庁舎2階）または各支所市民生活課で申請が必要です。※受付時間：月～金曜日（祝日、年末年始除く）午前8時30分～午後5時15分
- ▶ 設置場所を案内します。各自で土のうを作り、持ち帰ってください
- ▶ 1回の申請につき、1世帯当たり土のう20袋を上限とします
- ▶ 作った土のうの管理や処分は、各自で行ってください。また、市への返却はご遠慮ください
- ▶ 安全のため、荒天時や夜間の土のう作りは禁止します